

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う要望事項

一般社団法人 富山県手をつなぐ育成会
理事長 四方 正治

<全体事項>

1 新型コロナウイルス感染症を理由とする偏見や不当な差別、風評被害の防止

(県民の不安を解消するため、正確かつ詳細な情報提供と、偏見や不当な差別、風評被害を防止すること。)

2 福祉・介護人材の確保・定着

(福祉・介護の現場では、感染のリスクを危惧しながらも懸命に支援を続ける中で、職員の疲労も蓄積している。心ない偏見や差別を受けると一層ストレスが溜まる。福祉・介護人材の確保・定着を進めるため、福祉・介護職のイメージアップと処遇の改善に努めること。)

<在宅支援>

3 新型コロナウイルスの影響により疲弊状態にある、障害児者と家族の孤立化防止に向けての支援

(福祉サービス利用が自粛され自宅待機が続くことなどにより、疲弊状態にある知的障害児者のいる家族について、状況を把握し、適切な支援につなげること。)

4 知的障害児者の入院や家族の入院などにおける支援体制の確立

(本人が感染した場合の医療提供体制をはじめ、介護を担う家族等が感染したときに、介護が必要な障害者のための一時受け入れ施設の設置や、重度対応が可能なショートステイの確保など、障害者支援体制を確立すること。)

【参考】神奈川県、神戸市、東京都杉並区で一時受け入れ施設を設置

<入所等支援>

- 5 入所施設やグループホームなどの生活支援施設において、感染が発生した場合に、事業所の機能維持を図る支援体制の確立
(感染発生後に事業所の機能が維持できるよう、応援職員の派遣や利用者を分けて支援する取り組みなどへの支援体制を確立すること。)

- 6 感染拡大防止のため、入所施設やグループホームにおいて、家族との面会や帰省が長期間制限されている障害児者への適切な支援
(日頃から家族との面会や帰省を楽しみにしている障害児者にとっては、長期間の制限により、生活リズムの崩れやストレス、精神面での不安感が高まっているのではないかと案じられ、適切な支援が求められる。)

<避難所>

- 7 災害時の避難所における感染症対策と障害特性に応じた合理的配慮の提供等
(感染予防に配慮した避難所の環境づくりと、乳幼児、高齢者、障害者等に配慮した避難所運営、及び災害時の避難所としてのホテル・旅館等の活用に向けた準備に対する市町村支援に努めること。)